



貫井の風



令和6年1月号
令和7年1月31日
校長 佐藤 明子

<https://cms.nerima-tky.ed.jp/weblog/index-i.php?id=212>



心をかたちであらわす実践力

校長 佐藤 明子

「貫井中学校の伝統と長所は、あいさつです」と、本校の生徒たちは、誇りをもって語ります。令和6年度 第62期生徒会の重点的な活動方針にも「あいさつ」が引き継がれています。確かに、明るく挨拶をされるとうれしいですし、時折、学校を訪問されるお客様から、生徒の元気な挨拶に新鮮な驚きを覚えたとお褒めの言葉をいただくことが多くあります。とは言うものの、まずは朝晩、一番近くにいる家族に、「おはようございます」や「おやすみなさい」、「いただきます」や「ごちそうさま」を言えているのだろうか、また地域でも、自分を支えてくださっている皆さんに、しっかりと挨拶はできているのだろうか、となると、いささか心配になったりもします。

さて、その挨拶についてですが、今日に伝わる立礼・お辞儀という形は、奈良時代からのようです。それよりずっと昔である3世紀末の中国の文献「魏志倭人伝」には、日本の習俗として、身分の高い人同士が出会うとお辞儀はせずに、お互いに両手を打ったとの記録があります。現在でも、初詣などで神社に行けば、柏手(かしわて)を打ちます。相撲の横綱の土俵入りでも手を打つ場面を見ますが、関連があるのかも知れません。しかし、奈良時代の頃は互いの身分が違うと手は打ちませんでした。その場合、下位の立場の者が片膝を立てて座ったり(跪座・きざ)、両膝や両手をついたり(匍匐・ほふく)という方法で挨拶していました。このような身分の違いで挨拶を変えるのは望ましくないとの考えは、ずっとあったようで日本では、西暦680年に天武天皇が、「匍匐を禁止し、立礼に統一せよ」と詔勅(しょうちよく)を出します。そして、挨拶は今も重要とされ、今日に至ります。時代は変わり現在、ビジネスで当然であった名刺交換や握手も、コロナ禍を経てできる場面が減り、挨拶も多様化が進みました。でも大切なのは笑顔で親しみを示し(マスクで口元は見えなくても、目元で笑顔の相手をうかがうことができます)相手を気遣うのが、時を経て場所が違って変わらぬ基本でしょう。こうした名残が「こんにちは」の末尾の表記が、「わ」ではなく、「は」と表記することに見られます。なぜなら、「今日は、ご機嫌いかがですか」という、後の心遣いに続く形だからです。

しかし、相手を気遣うとは、敬意や感謝の気持ちが根底にないと、言葉が素直に湧いてきません。そして敬意や感謝は、日常の落ち着いた、ゆったりとした生活の中で、よき出会いを通して身に付いていきます。したがって、生徒たちには、普段からご家庭でも学校でも愛情をいっぱい注いであげたいものです。そうした心の触れあいが、生徒たちの信頼感を高め、家族愛や愛校心を形成させ、さらには地域、練馬区などへの郷土愛、その母体となる日本や国際社会への望ましい連帯感を育て、『生きる』ことに意欲的で、豊かな生活への実践者となっていくと考えます。多種の感染症の拡大だけでなく、毎日起こる激動のニュースを目の当たりにして、世界があまねく平穏であるように祈るのは、私一人だけではありません。そんな穏やかな一歩は、小さな行動かも知れませんが、日々、敬意や感謝を含めた心をかたちであらわす挨拶を大切に生活から始まると考えています。

1年で最も短い3学期も早いもので、あと40日弱の授業日となりました。3年生は、進路の最終決定をしていく高校入試が本格的になったり、1・2年生にとっても、令和6年度の1年間の締めくくりを様々な場面で行ったりと、生徒たちにとっては、大切な時期が続きます。今学期も、教育活動の一層の充実と発展に努めてまいりますので、引き続き、ご協力と支援のほど、よろしく願いいたします。

このたび、保護者の方から「生徒たちが学習について、相談しにくい状況にある」「正確な情報が得られない」とのご指摘をいただきました。学校ではご指摘を真摯に受け止め、生徒たち一人一人が、安心して相談できる環境づくりについて考え、今後は、以下の取組を実施し、改善を図ってまいります。

- 1、「各学期末の評価に関する質問会」は、令和6年度3学期より、ゆったりとした室内で生徒からの相談を受け、応えていきます。
 - 2、令和7年度から、「三者面談」を「教育相談日」「進路相談日」に名称を変更するとともに、生徒を主体者とした相談時間へ、相談の質の変換を図ります。
 - 3、令和7年度4月より、これまでの教育相談室に加え、「進路学習室」を新設し、日常から生徒が学習について相談しやすい環境になるよう、学校全体の学習環境を整えます。
- 引き続き、生徒、保護者や地域の皆様のご意見を大切に、学校改善に努めてまいりますので、何卒、ご理解とご協力をよろしく願いいたします。



2・3月の主な予定

日	曜	主な行事等	相談
2/4	火	専門委員会、安全指導日	SC
5	水	区教員研修会のため午前授業	心ふれ
6	木		SC
7	金		
8	土	土曜授業日、学校評議員会 新入生保護者説明会	
9	日		
10	月	生徒朝会、 私立高校入試のため午前授業(3年生)	心ふれ
11	火(祝)	建国記念の日	
12	水	職員会議、都立前期・一般入試出願取下げ日(3年生)	心ふれ
13	木	避難訓練、都立前期・一般入試再提出日(3年生)	
14	金	情報モラル教室(2年生)	
15	土		
16	日		
17	月	朝礼	心ふれ
18	火	学年末考査1週間前のため部活動停止	SC
19	水		
20	木	都英語スピーキングテスト(1・2年生)	
21	金	都立前期・一般入試(3年生)、午前授業(3年生)	
22	土		
23	日(祝)	天皇誕生日	
24	月	振替休日	
25	火	学年末考査始	
26	水	学年末考査	
27	木	学年末考査終	
28	金		心ふれ
3/1	土		
2	日		
3	月	朝礼、都立前期・一般入試発表(3年生)	
4	火	校外学習(3年生)、総合的な学習発表(1年生)	SC
5	水	卒業式に向けた練習始、職員会議、避難訓練	
6	木	3年生を送る会リハ、特別時間割始(3年生) 都立後期・二次入試出願(3年生)	
7	金	3年生を送る会	
8	土		
9	日		
10	月	朝礼、スポーツ大会(3年生)	
11	火	都立後期・二次入試(3年生)	SC
12	水	卒業式予行	
13	木	保護者会(1・2年生)、午前授業	
14	金	都立後期・二次入試発表(3年生)	
15	土		
16	日		
17	月	生徒朝会	
18	火	卒業式準備	
19	水	卒業式	
20	木(祝)	春分の日	
21	金	専門委員会	
22	土		
23	日		
24	月	大掃除、給食終了日、スポーツ大会(2年生)	
25	火	修了式、離任式	
26	水	春期休業開始(~4/6)	
27	木		

- * 予定が変更した際には、改めてお知らせします。
- * 行事等の詳細は、各担当からのお知らせにてご確認ください。



貫井中学校のSDGsアクション

校内展覧会、学校公開を 開催しました

～参観ありがとうございました～

1月22日(水)～24日(金)に学校公開を、そのうち22日(水)・23日(木)の二日間は、校内展覧会を実施しました。

校内展示会では、日常の学習活動の成果を展示し、保護者・地域住民のべ156名の方に参観いただきました。今年度も実技教科や総合的な学習の時間内での制作物にとどまらず、部活動等にも広げ、生徒たちの日常の学習風景を想像していただけるように工夫しました。参観いただいた方からは、「丁寧に仕上げられており、集中して取り組んだのだろうと思いました」「さすが、中学生の作品は素晴らしい」「また来年度も楽しみにしています」等、生徒たちの日々の積み重ねやプロセスを評価した感想を寄せていただきました。また、運動会や合唱コンクールと同じように、子供たちの成長に熱く温かい激励を送っていただきました。

また、今回の学校公開は、令和6年度最後のご案内でした。平日開催にもかかわらず、ご多用のところ、来校いただきましたことに改めて御礼申し上げます。一方で一般的ではありますが、中学校は小学校に比べて、学校参観に来ていただける方が少ないのが実情です。子供たちが思春期にさしかかり、保護者や家族に対して「もう中学生なんだから、学校に来なくてもいいよ」「しっかりやれているから大丈夫だよ」と恥ずかしがって、来てほしくない気持ちを伝えることも、理由なのかもしれません。令和7年度は、学校行事の参観に加え、普段の子供たちの学ぶ姿も折に触れて、参観していただきやすくなるよう、学校公開の開催の時期や回数、形態等の改善も図っていきたいと思います。

令和6年度学校評価保護者アンケートに ご協力いただき、ありがとうございました

今年度は、少しでも多くの方から回答していただきたく質問項目を精査しました。昨年度より1.5倍増の回答を得ることができました。2月8日(土)に実施する学校評議員会、年度末の教職員の会議を経て後日、学校評価としてお知らせします。多くのお声を寄せていただき、ありがとうございました。

PTA 給食試食会を実施いたしました

1月30日(木)に19名の保護者の参加で実施しました。学校栄養職員から献立の栄養的価値や食材選び、子供たちの嗜好に合わせた調理法について説明し、人気メニューのルーから手作りのカレーライス(当日は冬野菜のカレー)を楽しく会食していただきました。

